

## 「うまいメロンをたくさん食べたい！」

池田 由美子、伊佐 常和、大角 桂子、片山 雅美、澤田 育久

田上 達夫、土屋 博子、橋本 浩治、宮島 久美子、森本 薫雄

### 目的

昨年度、当班は小玉スイカを対象に、さまざまな栽培条件が、生育、食味、収穫量に及ぼす影響を研究して、有用な成果を得た。そんなことより、

今年度は「おいしいメロンを思う存分食べたい！」というシンプルな欲求の実現に挑戦することにした。

メロン栽培は、これまで園芸専攻の先輩方も苦戦された難易度の高いテーマであり、挑戦しがいがある。その栽培過程を通して園芸の奥深さや楽しさを改めて実感するとともに、園芸専攻の魅力を発信できればと考え本研究に取り組んだ。

### 予備調査

昨年度の研究と過去のメロン栽培のレポートを分析して失敗要因を整理し、さらにインターネット情報も活用して栽培方法をまとめ、栽培が容易で、美味しく、多収が期待できる最新の4品種を選定した。

### 栽培

3月、購入した種子を湿らせ、25～30℃に加温して発根を促す。

翌日、温室内でポットに播種したが、一部の品種で発芽率が低く、再播種を行った。

幅1.2mの畝を作ってマルチを敷設し、半円形支柱を用いてポリシートトンネルを設置。

5月、温室栽培分も含め、合計37株を定植した。

酷暑に耐えられるよう、株元からあえて離れた位置に灌水して、根を広く張らせることを意識。

栽培期間中は風害・虫害・病害の被害を受けたが、その都度適切に対処した。

その結果、予定通り7月下旬から収穫を開始できた。

### 結果

8月末までに計173個のメロンを収穫。

糖度17度(一般に14度で「甘い」)、果重3kgに達する果実も確認され、糖度・果重ともにメーカーの指標値を上回る成果を得た。

これにより、家庭でも実践可能な栽培方法と、品種を提案することができた。

### まとめ

難易度が高いとされるメロン栽培において、期待以上においしいメロンを数多く収穫でき、当初の目標は達成できた。

これはチームで協力しながら取り組んだ成果であり、その過程を通してメンバー同士の絆も深まった。園芸は作物を育てるだけでなく、園芸が持つ「人と人を繋ぐ力」を実感する機会となった。

本研究を通して、後輩のみなさんにも園芸の楽しさや魅力が伝われば幸いである。

